

講義科目名称：心理学

授業コード：10001

英文科目名称：Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	榎本光邦
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	榎本光邦
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学</p>	榎本光邦
	第4回	<p>発達障害 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され、ここ数年の間に発達障害に関する知識が急速に広まっている。本講義では代表的な発達障害であるAD/HD、SLD、自閉スペクトラム症の特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 key words：発達障害、AD/HD、SLD、自閉スペクトラム症、太田ステージ理論、特別支援教育</p>	榎本光邦
	第5回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	榎本光邦
	第6回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポナント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	榎本光邦
	第7回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	榎本光邦
	第8回	<p>動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	榎本光邦

	<p>第9回 性格 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。 key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性</p> <p>第10回 対人関係と集団 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，関係の維持</p> <p>第11回 臨床心理学（1） 「精神分析」 精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス</p> <p>第12回 臨床心理学（2） 「分析心理学」 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析</p> <p>第13回 臨床心理学（3） 「クライエント中心療法」 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件</p> <p>第14回 心理療法（1） 「コラージュ療法」演習 心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。 key words：心理療法，芸術療法，コラージュ療法</p> <p>第15回 心理療法（2） 「箱庭療法」 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴</p>	<p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p>
<p>科目の目的</p>	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
<p>到達目標</p>	<p>1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>	
<p>関連科目</p>	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，家族社会学，生活文化と医療，人口知能・ロボットと社会，人間関係・コミュニケーション論，基礎統計学，情報処理，情報リテラシー，データサイエンス入門，大学の学び入門，大学の学び一専門への誘い，多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ，生理学Ⅱ，人間発達学，生涯発達心理学，学習・認知心理学，心理測定法，行動科学とリハビリテーション，公衆衛生学，小児科学，精神医学Ⅰ，精神医学Ⅱ，リハビリテーション医学，リハビリテーション概論，チーム医療とリハビリテーション，臨床心理学，医療統計学，社会福祉・地域サービス論</p> <p>【専門科目群】認知機能作業療法学，精神領域の作業療法学，精神領域の作業療法学実習，発達領域の作業療法学，発達領域の作業療法学実習，老年期の作業療法学</p>	
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>定期試験（レポート形式・70%）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
<p>準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安</p>	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードし</p>	

	ておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室または5号館1階学生相談室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。

講義科目名称：教育学

授業コード：10002

英文科目名称：Education

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループワーク等の演習を含みます） 15コマ	担当者
授業計画	第1回 なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回 教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回 世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。 提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第4回 世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第5回 日本の学校教育の変遷 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第6回 現在の学校教育が目指すもの 新学習指導要領の記述を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤哲也
	第7回 潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第8回 子どもの思いに基づく幼児期の教育 「環境を通して行う教育」「遊びを通しての総合的な指導」といった幼児教育の基本について知ることを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第9回 子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第10回 子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第11回 活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第12回 特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第13回 チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第14回 教師の資質 これまでの学びや自身の教育経験を踏まえ、子どもにとって理想的な教師像を思い描くことを通して、教師に求められる資質とはどのようなものかを考える。	安藤哲也
	第15回 「教育学」をどう活かすか？ ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也

科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、評価に基づいたコメントを付し、次回に返却することを通して、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、返却されたワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書・参考書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自印刷して授業に持参して下さい。

講義科目名称：教育心理学

授業コード：10003

英文科目名称：Educational Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
原 芳典			

授業形態	講義（演習＝エクササイズを含む）15回	担当者
授業計画	第1回 教育心理学を学ぶ意義 ガイダンス 学校教育とは 子供の誕生と消滅 エクササイズ（思い出に残る先生）	原 芳典
	第2回 発達の視点を持つ 様々な発達理論 思春期とは？ エクササイズ（自分史グラフ）	原 芳典
	第3回 思春期の仲間関係の発達 ギャンググループ チャムグループ ピアグループ エクササイズ（自分たちの体験を振り返る）	原 芳典
	第4回 児童期 フロイトの自我理論 心理学のあゆみ エクササイズ	原 芳典
	第5回 乳幼児期① 生理的早産仮説 有能な赤ちゃん 愛着形成 エクササイズ	原 芳典
	第6回 乳幼児期② ビデオ学習「赤ちゃん」	原 芳典
	第7回 青年期の心理と課題 エリクソンの発達理論 エクササイズ（アイデンティティ・ステイタス）	原 芳典
	第8回 自己概念 ジェンダー・アイデンティティ 男女の会話スタイル エクササイズ	原 芳典
	第9回 学校教育相談 ビデオ学習「多様な性の子どもたち」 学校教育相談の歩み チェーン・インタビュー	原 芳典
	第10回 学校教育相談② アサーション アクティブ・リスニング エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）	原 芳典
	第11回 特別支援教育② 特別支援教育に至る経緯 発達障害の概念の整理 エクササイズ（視覚優位か聴覚優位か）	原 芳典
	第12回 教育現場での実践的諸問題① ビデオ学習「多様な生の子どもたち」 不登校やいじめの背景にある性的マイノリティ	原 芳典
	第13回 教育現場の実践的諸問題② ビデオ学習「傷つき傷つけられた果てに」 摂食障害 自傷行為（リストカット）	原 芳典
	第14回 学校教育と自己肯定感 自己肯定感 エレファントシンドローム エクササイズ（OKマークをペタン）	原 芳典
	第15回 学校臨床学という視点 自己実現 エクササイズ（様々な私） まとめ	原 芳典
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得する	
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験50% および課題（毎回提出を求める学習の理解や定着度を測る小レポートなどで次回にコメントや評価をつけて返却）の評価 50%	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらないが自分の教育体験をよく想起しておく（45分程度）
教科書・参考書	教科書は とくに使用しない。 必要に応じて講義資料を提示する。 参考書： 保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編「子どもの成長 教師の成長～学校臨床の展開」2000年 神田橋條治著「発達障害をめぐって」岩崎学術出版社 2018年
オフィス・アワー	昼休み及び授業前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	とくになし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義（13回）・演習（2回）	担当者
授業計画	<p>第1回 はじめに ―健康の保持・増進という視点から運動・スポーツを科学する― ①ライフスタイルと生活習慣病について ②適正体重の維持 ③日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう ④運動不足病としての生活習慣病 ⑤「運動基準」「運動指針」</p> <p>第2回 運動とスポーツの生理学① ―呼吸・循環器系機能と運動・スポーツ― ①運動の持続と呼吸・循環器系 ②循環器の働きと血液の循環経路 ③運動に伴う呼吸・循環器系機能の変化</p> <p>第3回 運動とスポーツの生理学② ―ATPと運動・スポーツ― ①運動時の酸素利用 ②トレーニングによる呼吸・循環器系の適応</p> <p>第4回 運動とスポーツの生理学③ ―神経・骨格筋系機能と運動・スポーツ― ①随意最大筋力を決めるもの ②身体運動にみられる筋と腱の相互作用 ③身体運動と神経機能</p> <p>第5回 運動とスポーツの生理学④ ―エネルギー代謝と運動・スポーツ― ①1日のエネルギー消費量と貯蔵エネルギー量 ②一過性運動時のエネルギー代謝 ③トレーニングによるエネルギー代謝の変化</p> <p>第6回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論① ―トレーニング概論― ①体力トレーニングの原理と原則</p> <p>第7回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論② ―瞬発系、持久力系、回旋系― ①エネルギー発現能力を高めるためのトレーニング</p> <p>第8回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論③ ―評価（アセスメント）― ①評価（アセスメント） ②コレクティブエクササイズ</p> <p>第9回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論④ ―アスリートトレーニング― ①一例（ケンブリッジ飛鳥）（目標まで3か月、週3回、1時間） ②ドローイン</p> <p>第10回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論⑤ ―筋肉とタンパク質― ①食事のアスリート度チェック ②栄養（タンパク質）チェック</p> <p>第11回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論⑥ ―筋肉とアミノ酸― ①アミノ酸とは ②BCAAについて ③グルタミンについて ④アルギニンについて ⑤クレアチンについて</p> <p>第12回 スポーツ心理① 他人のために自分ができること、目標設定とは？理想の自分とは？成功と失敗を振り返る、について考える。</p> <p>第13回 スポーツ心理② 起こり得る問題の対策、オープンウインド、について考える。</p> <p>第14回 スポーツ心理③ 気持ちをコントロールする、について考える。小テスト実施。</p> <p>第15回 スポーツ心理④ 1か月の目標設定、について考える。小テスト返却。レポート提出。</p>	<p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p> <p>衣川隆</p>
科目の目的	<p>「健康と運動」、「老化と運動」に関しその維持と増進方法について、なぜ運動が重要なのかを学ぶ。特に有酸素運動と筋トレの効果は、心肺機能、呼吸器の向上、筋力の向上と筋肥大だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、姿勢の改善、高齢者生活の障害を低減すること等を説明する。本講義では有酸素運動や、筋力トレーニングを体験しながらその効果をも医療従事者とし</p>	



	て、地域社会に発信できるよう基礎を学ぶ。 またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起り得る問題の対策を学習する。そして生涯にわたって専門分野を探求し、その発展に貢献できるよう考え方を学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、正しい筋力トレーニングやストレッチの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心を身に着ける。またスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に学び、知識・行動を身に付ける。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	講義時間内にレポートを実施（50％）。小テスト（50％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日の最後の15分間で、自分自身の健康や体力、栄養について振り返るための自己分析をしてほしい。
教科書・参考書	参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店
オフィス・アワー	講義室または体育棟で、講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：健康スポーツ実技

授業コード：10005

英文科目名称：Practice in Sports Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション オリエンテーションと班編成&トレーニング	衣川隆
	第2回 球技・トレーニング 腓腹筋、前脛骨筋等の下肢を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第3回 球技・トレーニング RFDの考え方を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第4回 球技・トレーニング 大臀筋、ハムストリングス等の下肢を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第5回 体力測定記録会 体力測定（長座体前屈、握力、背筋力、立ち三段跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、腹筋30秒、20m）、体力測定記録会は小テストになる。	衣川隆
	第6回 球技・トレーニング 体幹を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第7回 球技・トレーニング 大胸筋、小胸筋、三角筋を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第8回 球技・トレーニング 菱形筋、前鋸筋等の肩甲骨周辺筋群を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第9回 球技・トレーニング アイソトニック、アイソキネティック、アイソメトリックの考え方を中心とした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第10回 心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。	衣川隆
	第11回 球技・トレーニング アナトミートレインの考え方を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第12回 球技・トレーニング PNFストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第13回 球技・トレーニング バランストレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第14回 球技・トレーニング メディシンボールを使った筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第15回 球技・トレーニング ドローインと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
科目の目的	<p>運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチを行い、体力をつけることを狙いとする。一人で簡単にできる筋力トレーニングやストレッチを行って、少しずつ無理なく、自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。</p> <p>各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして将来チーム医療を実践するための、学生相互のコミュニケーション能力も身に付ける。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	

到達目標	①健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 ②生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける。 ③自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整える。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	授業時間内の実技（65％）。小テスト（35％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおける体調管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日の最後の15分間で、生活リズムを振り返るための自己分析をしてほしい。
教科書・参考書	参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	体育棟で授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	養護教諭二種免許取得を希望する者は履修すること。

講義科目名称：生命倫理

授業コード：

英文科目名称：Bioethics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
吉田 幸恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：哲学

授業コード：

英文科目名称：Philosophy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
赤羽 悠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：現代文学

授業コード：

英文科目名称：Modern Literature

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
徳本 善彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、そして、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。	竹村 一男
	第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想、及び昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。	竹村 一男
	第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史など画像を交え説明する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。	竹村 一男
	第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。	竹村 一男
	第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。	竹村 一男
	第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心にその文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。	竹村 一男
	第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。	竹村 一男
	第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。	竹村 一男
	第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。</li> <li>● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。</li> <li>● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。</li> </ul>	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に並行して、比較宗教学による文献の読解をお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。	
教科書・参考書	教科書 使用しない。必要に応じてその都度、プリントを配付する。 参考書1 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫） 参考書2 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各回のプリントを事前にActive Academyにアップロードしておきます。受講者はプリントアウトして授業に出席してください。	



講義科目名称：芸術

授業コード：10010

英文科目名称：Art

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。</li> <li>・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。</li> <li>・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。</li> <li>・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。</li> </ul>	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小レポート（2回）各30%、期末教場レポート30%、授業中アンケートなど10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 14:00～14:40	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	

講義科目名称：法学(日本国憲法含む)

授業コード：

英文科目名称：Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
道下 洋夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず(2021年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：家族社会学

授業コード：

英文科目名称：Family Sociology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
坂本 祐子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生活文化と医療

授業コード：

英文科目名称：Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：経済学

授業コード：

英文科目名称：Economics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
飯島 正義			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
佐藤 満	佐藤 満		

授業形態	講義15回	担当者
授業計画	第1回 人工知能の定義，ロボットの定義 未来社会に多大な変革をもたらす技術とされる人工知能技術、およびロボット技術の位置づけを類似従来技術との差から考察することで、人工知能、ロボットの技術的特徴を理解する。	佐藤 満
	第2回 人工知能の歴史 これまでの人工知能技術開発の歴史と経過を考察し、その折々での技術水準と技術の限界を確認することで、現在の人工知能技術の到達水準と弱点を理解する。	佐藤 満
	第3回 人工知能の仕組みとその学習方法 人工知能技術の仕組みとしての人工ニューロンのネットワークの概念を理解する。また人工知能に学習させる方法の種類とその特徴について理解する	佐藤 満
	第4回 身のまわりにある人工知能技術① 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が我々の暮らしに与える影響について理解する。	佐藤 満
	第5回 身のまわりにある人工知能技術② 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が我々の暮らしに与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第6回 人工知能技術と社会① 人工知能技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第7回 人工知能技術と社会② 人工知能技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が近未来社会に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第8回 人工知能技術と医療① 人工知能技術の応用は、医療にも大きな技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が今後の医療に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第9回 人工知能技術と医療② 人工知能技術の応用は、医療にも大きな技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が今後の医療に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第10回 ロボット技術の歴史・種類・仕組み ロボットであると認知される技術の歴史の変遷やその種類について概観し、現在のロボットの位置づけを明確にした上で、人工知能との組み合わせで高機能化したロボットの概要とその種類を理解する。	佐藤 満
	第11回 ロボットと社会① ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通してロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満

	第12回	ロボットと社会② ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通してロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第13回	ロボットと医療① ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、ロボット技術が今後の医療に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第14回	ロボットと医療② ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、ロボット技術が今後の医療に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第15回	人工知能とロボットの未来 人工知能やロボット技術が際限なく進歩すると、人間や社会との共存という視点からさまざまな問題が生じると予想されている。そうした課題の具体例セキュリティやプライバシーの観点から理解する。	佐藤 満
科目の目的	本科目はこれからの医療と社会に大きな変革をもたらす人工知能とロボット技術に関して医療人として必要な基礎的知識と教養を身に付けることが目的です。また、主体的に疑問や課題を発見し、主体的に調査や検討を実施する課題解決のプロセスを通して、将来的に人工知能とロボット技術に適切に向き合うことができる能力を身に付けます。以上より、リハビリテーション学部のデュプロマ・ポリシーの「人間や社会に関する幅広い教養に根差し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を認識できる能力」および「自己研鑽に励み、人格的成長を目指す姿勢」の獲得を目的とします。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	人工知能技術やロボット技術がもつ特色、期待される役割、技術の到達レベルを説明することができる。 人工知能技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。 ロボット技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。 人工知能技術やロボット技術が多大な進歩を遂げた際に生じる課題や問題を説明することができる。		
関連科目	教養科目群・共通基盤科目群：基礎統計学 専門基礎科目群：リハビリテーション概論、リハビリテーション医学		
成績評価方法・基準	成績は講義内で作成する課題（60%）と定期試験（40%）にて評価します。定期試験の出題範囲は全ての講義で扱った内容とし、講義資料だけでなく講義で言及した内容を含めます。講義内で作成する課題は講義中に発表します。その際に課題へのフィードバックを行います。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前にシラバスの講義内容に目を通し、関連する単語や概念について調べてください。講義中に十分理解できなかった内容については、講義後に調べて、それでも解決しなかった際にはメールで質問してください。予習と復習を合わせて1講義につき1時間の時間を掛けることが望ましいです。		
教科書・参考書	【教科書】 指定しません。 【参考書】 講義の中で紹介します。		
オフィス・アワー	必要に応じ講義後、それ以外はE-mailで受け付けます。 Mail Address : msato@nr.showa-u.ac.jp		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	講義開始前までに講義資料を配布する。		



講義科目名称：地域ボランティア活動論

授業コード：

英文科目名称：Volunteer Activities in a Community

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
竹澤 泰子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：人間関係・コミュニケーション論

授業コード：

英文科目名称：Human relations and communication study

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：環境学

授業コード：10018

英文科目名称：Environmental Studies

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質（1） ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質</p> <p>第2回 生命を支える物質（2） 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物（糖質） ・脂質 ・核酸 ・無機質（無機塩類）</p> <p>第2回・3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞（細菌類を含む）、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割</p> <p>第4回・5回 細胞の増殖・生殖細胞の形成 ①細胞周期 ②間期（S期、G2期、G1期） ③細胞周期の調節 ④分裂期（M期） ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体（遺伝子）の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～</p> <p>第6・7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成、遺伝子の働き ④胚葉形成（中期胞胚変（遷）移と母性胚性変（遷）移） ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス</p> <p>第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に生物学Aでは生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる。 ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する。 ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。</p>	
関連科目	化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてはわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や生物学分野の基礎研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学を併せて履修することが望ましい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 生命活動とエネルギー ①酵素の性質と酵素反応 ②生命活動とエネルギー ・光合成：光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す過程について ・人工光合成研究開発の現状と未来計画 ・呼吸：生体のエネルギー産生とミトコンドリアの役割（解糖系からTCA回路、電子伝達系によるエネルギーの産生）について ・外呼吸と内呼吸の関係 ・動物と植物のエネルギー連関～光合成と呼吸～</p> <p>第3回・4回 遺伝ーヒトを中心にーその1 ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ ④原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ⑤性染色体の不活性化 ⑥エピジェネティクス</p> <p>第5回・6回 遺伝ーヒトを中心にーその2 ①単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性優性遺伝病、・劣性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度ーハーディーワインベルグの法則の有用性ー ②多因子遺伝病 ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病</p> <p>第6回・7回 ヒトの受精と初期発生 ①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ⑤胚葉の分化 ⑥前胚子期と胚子期 ⑦発生をつかさどる遺伝子 ⑧先天異常発生の要因</p> <p>第8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンプロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>

科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>
-------	---

到達目標	<p>基礎生物学で学んだ学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。</p> <p>①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。</p> <p>②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。</p> <p>③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。</p> <p>④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。</p> <p>⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>
------	---

関連科目	生物学A、化学A、解剖学 I、生理学 I、生化学
成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。

講義科目名称：基礎数学

授業コード：10021

英文科目名称：Basic Mathematics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回 基礎統計学 資料の整理を復習し、データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、基礎統計学について学ぶ。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学、基礎物理学、物理学、基礎化学、化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：基礎統計学

授業コード：10022

英文科目名称：Basic Statistics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーションおよび高校数学 授業の内容・進め方、成績評価の仕方を説明した後、講義に必要な高校数学(微分・積分など)を復習する。	井上浩一
	第2回 確率分布 確率変数および確率分布の概念を学び、離散型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学ぶ。	井上浩一
	第3回 代表的な確率分布(1) 代表的な離散型確率分布である二項分布を学ぶ。	井上浩一
	第4回 代表的な確率分布(2) 連続型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学び、とりわけ正規分布を学ぶ。	井上浩一
	第5回 相関 2変数データを散布図にまとめて、その分布を視覚的に把握する方法を学ぶ。	井上浩一
	第6回 標本調査 母集団の特徴を表す母平均・母分散、また基本的な統計量である標本平均とその分布を学ぶ。	井上浩一
	第7回 推定 母集団のある値を、標本のデータから推定する方法を学ぶ。	井上浩一
	第8回 検定 母集団についてのある仮説が、標本のデータに基づいて、その仮説を否定できるかどうかを判定する方法を学ぶ。	井上浩一
科目の目的	データを処理する上で必要となる統計的な見方・考え方および手法を学び、将来、仕事などで統計を用いる際の土台をつくる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 確率分布の概念を理解し、その特徴を表す値(期待値、分散など)を求めることができる。 2. データの相関を把握し、それらを的確に表現することができる。 3. 推定・検定の意味を理解して、母集団の考察に活用できる。	
関連科目	基礎数学、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	筆記試験100% なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：授業前に配布したプリントに目を通しておく。(30分程度) 復習：教科書または参考書(下記に記載のものでなくてもよい)の演習問題を解いてみる。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書：「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦(共立出版) 参考書：「はじめての統計学」道家映幸・伊藤真吾・宮崎直・酒井祐貴子(コロナ社)	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	○履修条件 基礎数学も履修することが望ましい。  ○履修上の注意 教科書の第3章から始めて、目次通りに授業を進めるが、時間の制約上、すべてを網羅できないことをご了承していただきたい。なお、第1, 2章の内容は講義「基礎数学」に含まれています。 また、講義内容をまとめたプリントをActive Academyに登録しておくので、講義日までに各自でダウンロードしておいてください。	

講義科目名称：基礎化学

授業コード：10023

英文科目名称：Basic Chemistry

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 化学反応の速度 化学反応の速度の測定方法、速度に影響を与える要因について解説する。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程の理解のための基礎的知識を身につけることを目的とする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクシオンペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称：化学

授業コード：10024

英文科目名称：Chemistry

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と関わる化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する。	日置 英彰
	第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特になし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称：基礎物理学

授業コード：10025

英文科目名称：Basic Physics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 求			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	佐藤求
	第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力	佐藤求
	第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	佐藤求
	第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	佐藤求
	第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	佐藤求
	第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	佐藤求
	第7回 円運動 等速円運動。	佐藤求
	第8回 バネと単振動 単振動	佐藤求
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	金曜日終日、研究室にて。 (それ以外の時間でもこちらが空いているようなら気軽にどうぞ。)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称：物理学

授業コード：10026

英文科目名称：Physics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 求			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	佐藤求
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	佐藤求
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	佐藤求
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式、干渉	佐藤求
	第5回 波動 2 ドップラー効果	佐藤求
	第6回 電気の基礎 1 クーロン力、電界、電位	佐藤求
	第7回 電気の基礎 2 電気力線とガウスの法則、コンデンサ	佐藤求
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	佐藤求
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 物理学Aに続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	後日入力	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎物理学も履修しておくことを強く勧める。	

講義科目名称：英語リーディング

授業コード：10027

英文科目名称：General English Reading

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介	井上 まゆみ
	第2回 Lesson 1 Communication communicationの持つ力についての会話練習、英文読解。(課題) 英語で自己紹介をしてみる。	井上 まゆみ
	第3回 Lesson 2 Friendship 課題のフィードバック。様々なfriendshipの形についての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for omunicationのLet's Try (Lesson 1, 2)	井上 まゆみ
	第4回 Lesson 3 Health 課題のフィードバック。Healthに留意することの意義についての会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
	第5回 Lesson 4 Environment 絶滅危惧種を守るためにすべきことについての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 3, 4)	井上 まゆみ
	第6回 Lesson 5 Fashion 課題のフィードバック。着物の変遷に関する会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
	第7回 Lesson 6 Food 人気のある食べ物についての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 5, 6)	井上 まゆみ
	第8回 Lesson 8 Study Abroad 課題のフィードバック。海外留学の意義についての会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
	第9回 Lesson 9 College Life in the U. S. 日本とアメリカの大学生活の違いについての会話練習、英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 8, 9)	井上 まゆみ
	第10回 Lesson 10 Steve Jobs 課題のフィードバック。Steve Jobsの生涯に関する会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
	第11回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する会話練習、英文読解。(課題) Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 10, 11)	井上 まゆみ
	第12回 Lesson 12 Internship 課題のフィードバック。インターンシップの意義に関する会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
	第13回 Lesson 13 Travel 交通手段の発展の歴史に関する会話練習、英文読解。(課題) Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 12, 13)	井上 まゆみ
	第14回 Lesson 14 Culture 課題のフィードバック。カルチャーショックに関する会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
	第15回 Lesson 15 An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。</li> <li>・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。</li> <li>・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。</li> <li>・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。</li> </ul>	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	

準	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名（朝日出版社）
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。

講義科目名称：医療英語会話

授業コード：10028

英文科目名称：Medical English Conversation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking Introduction to the course, class format, expectations, syllabus, and grading scale, as well as personal introductions and commonly used phrases and questions for use in class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Quiz (short test) on Unit 1 + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Quiz (short test) on Unit 2 + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Quiz (short test) on Unit 3 + Part I of Unit 4: Taking vital signs + Prepare for 1st Presentation	David Andrews
	第6回 1st Presentation + Part II of Unit 4: Taking vital signs Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-4.	David Andrews
	第7回 Quiz (short test) on Unit 4 + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Quiz (short test) on Unit 5 + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Quiz (short test) on Unit 6 + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Quiz (short test) on Unit 7 + Part I of Unit 8: Advising about medication + Prepare for 2nd Presentation	David Andrews
	第11回 2nd Presentation + Part II of Unit 8: Advising about medication Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 5-8.	David Andrews
	第12回 Quiz (short test) on Unit 8 + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Quiz (short test) on Unit 9 + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Quiz (short test) on Unit 10 + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies + Prepare for Final Presentation	David Andrews
科目の目的	Medicine is undeniably a global field in which ideas are shared in the international language of English. This course will introduce students to helpful communication strategies and explore communicative skills in English that are of particular relevance to the field of medicine. 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	Students will be able to: 1) handle a wide variety of medical situations using English, 2) understand and actively use accepted terminology and phraseology to explain and discuss major medical topics, and 3) build a foundation in medical English upon which to further their studies toward becoming professionals in their chosen field of medicine.	
関連科目	Related to all English courses	
成績評価方法・基準	1. In-class quizzes (short tests) (30%: 3% x 10 quizzes) These will cover material from the text and will be graded in class. 2. Two midterm presentations (done in pairs but graded individually) (35%: 1st=15%; 2nd=20%) Students will prepare and give presentations in pairs on relevant topics. 3. Final presentation (done in pairs but graded individually) (35%) Final presentation will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-12.	



準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	Each week we will practice and review a chapter from the text. Please read the dialogs, understand key vocabulary, and be prepared to speak in class. Listening practice is also important. Please use the online resources to practice listening. Each chapter will require about 30-60 minutes on your own to review and study. In addition, you will need about 6 hours during the semester to prepare for presentations.
教科書・参考書	教科書 : Caring For People
オフィス・アワー	During lunch of class day in my office
国家試験出題基準	無し
履修条件・履修上 の注意	Be prepared to speak in class individually, in pairs, and in small groups. Review the vocabulary and grammar from the text in order to use it in class. This syllabus is subject to change.

講義科目名称：医療英語リーディング

授業コード：

英文科目名称：Medical English Reading

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
柴田 恵美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：英語会話

授業コード：

英文科目名称：General English Conversation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：中国語

授業コード：10031

英文科目名称：Chinese

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。  文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。</li> <li>・正確な発音をマスターする。</li> <li>・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。</li> </ul>	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40％）・期末テスト（60％）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。

講義科目名称：ドイツ語

授業コード：10033

英文科目名称：German

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1	菅谷 優
	Lektion2 名詞と冠詞の格変化	菅谷 優
	Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷 優
	Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法	菅谷 優
	Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷 優
	Lektion6 前置詞	菅谷 優
	Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷 優
	Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷 優
	Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷 優
	Lektion10 現在完了・再帰表現	菅谷 優
	Lektion11 形容詞の格変化	菅谷 優
	Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷 優
	Lektion13 関係代名詞・指示代名詞	菅谷 優
	Lektion14 受動態	菅谷 優
	Lektion15 接続法	菅谷 優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01251-4を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：10034

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
宮入 亮			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション ポルトガル語について、簡単な挨拶、ポルトガル語の読み方 ポルトガル語の読み方	宮入 亮
	第2回 自己紹介ができる 自己紹介の表現 国籍の表現 動詞ser (be動詞) 疑問文と否定文	宮入 亮
	第3回 好きなものを伝えることができる 趣味の表現 色の表現 動詞gostar	宮入 亮
	第4回 家族を紹介することができる 家族の表現 動詞の現在形(規則・不規則)	宮入 亮
	第5回 予定の表現や約束の表現ができる 誘いかけの表現 曜日の表現 動詞ir	宮入 亮
	第6回 今おこなっていることの表現、天気表現ができる 進行の表現 天候の表現 動詞estar	宮入 亮
	第7回 週末にしたことを表現できる 過去の表現 動詞の完了過去形(規則・不規則)	宮入 亮
	第8回 過去の習慣の表現ができる 子どもの頃の習慣の表現 動詞の未完了過去形	宮入 亮
	第9回 「もし～だったら」と誘う表現ができる 「もし～だったら」、「～する時は」の表現 誘う表現 動詞の接続法未来形	宮入 亮
	第10回 指示や命令の表現ができる 道案内の表現 指示やお願いの表現 動詞の命令法	宮入 亮
	第11回 願望や要求の表現ができる したいことを伝える表現 してほしいことを伝える表現 動詞querer 目的語の代名詞	宮入 亮
	第12回 許可の表現、お願いの表現、時刻の表現ができる 許可の表現 動詞poder 時刻の表現・時点の表現	宮入 亮
	第13回 丁寧なお願いや許可の表現 丁寧の表現 動詞の過去未来形	宮入 亮

	第14回 比較の表現ができる 比較の表現 第15回 別れや感謝の表現ができる 別れや感謝の表現	宮入 亮 宮入 亮
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることが出来ます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	<p>期末試験(70%)、授業5回毎に行う小テスト(3回実施で各10%、計30%) 小テストは第5回、第9回、第13回の授業内で実施します。各小テストは、翌週に返却し解説します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>毎回先入観なく新しい内容を学習していただきたいため、予習は不要とします。 ただし、復習は授業直後と授業直前に毎回30分ほど行ってください。</p>	
教科書・参考書	<p>(教科書) 市之瀬敦他. 『Boa Sorte!-会話で学ぶポルトガル語-』. 朝日出版社.</p> <p>(参考書) 黒澤直俊他(編). 『デイリー日葡英・葡日英辞典』. 三省堂. 市之瀬敦他(編). 『プログレッシブポルトガル語辞典』. 小学館.</p> <p>その他、資料配布や、自習用アプリの紹介などいたします。</p>	
オフィス・アワー	<p>授業前、授業後の時間 (水曜日1限・2限の授業前後)</p>	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	

講義科目名称：情報処理

授業コード：10035

英文科目名称：Information Processing

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
西谷 泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンEdu.の利用方法、具体的な活用について学ぶ テキスト（目次） 本書と連携サイトの活用法	西谷 泉
	第2回 インターネットの仕組み コンピューターの構成要素、ファイルの仕組みについて学ぶ テキスト（第1章） コンピューターの仕組み	西谷 泉
	第3回 インターネット ネットワーク、インターネットの仕組み、ネットコミュニケーション、クラウドコンピューティングについて学ぶ テキスト（第2章） インターネット	西谷 泉
	第4回 情報セキュリティ コンピュータ・ウィルス、ネット詐欺の手口、パスワード管理、個人情報保護と情報漏洩について学ぶ テキスト（第3章） 情報セキュリティ	西谷 泉
	第5回 情報倫理 フェイク情報、SNS利用のリスク、メールのマナーについて学ぶ テキスト（第4章） 情報倫理	西谷 泉
	第6回 著作権 著作権の基礎知識、正しい利用について学ぶ テキスト（第5章） 著作権	西谷 泉
	第7回 プログラミング・AI プログラミングとアルゴリズム、プログラミング、AI（人工知能）について学ぶ テキスト（第6章） プログラミング・AI	西谷 泉
	第8回 レポート作成（Word） 1 レポート作成における見出しや文字、段落、オブジェクトの挿入、レポートの体裁について学ぶ テキスト（第7章） レポート作成（Word）	西谷 泉
	第9回 レポート作成（Word） 2 演習 レポート作成における見出しや文字、段落、オブジェクトの挿入、レポートの体裁について学ぶ テキスト（第7章） レポート作成（Word） ▼レポート作成サンプルファイル	西谷 泉
	第10回 集計表（Excel） スプレッドシートによる集計表作成について学ぶ テキスト（第8章） 集計表（Excel）	西谷 泉
	第11回 グラフ作成（Excel） 1 スプレッドシートによるグラフ作成について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel）	西谷 泉
	第12回 グラフ作成（Excel） 2 演習 スプレッドシートによるグラフ作成について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel） ▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷 泉
	第13回 プレゼンテーション作成（PowerPoint） 1 プレゼンテーション作成について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint）	西谷 泉
	第14回 プレゼンテーション作成（PowerPoint） 2 演習 プレゼンテーション作成について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint） ▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷 泉

	第15回 デジタルノート術 (OneNote) デジタルノート (OneNote) の利用と学習活用について学ぶ テキスト (第11章) デジタルノート術 (OneNote)	西谷 泉
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちはそのかなりの量を情報通信機器を使って得る。大学での学習も情報通信機器を扱うスキルによって影響を受けることは確実である。本科目では大学での学びを充実させるために、情報通信機器の基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	パーソナルコンピュータや、インターネットを通して情報を活用する能力を身につける。また、情報の意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の概念について説明できる。 2. パーソナル・コンピュータの基本操作が行える。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎の演習課題60%、Eラーニング・ミニテスト40%）100% ミニテストの結果は、リアルタイムに表示されます。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネット上のクラウド型学習コンテンツサービスを利用して、授業（30分）、自己学習（30分）、関連項目の学習（20分）、ミニテスト（10分）を演習を通して実施します。関連する項目を事前学習（45分）で理解し、併せて関連サイトを自己学習（45分）することが望まれます。	
教科書・参考書	教科書：日経パソコンEduクラウド型教育コンテンツ提供サービス：「基礎から学ぶICTリテラシー」 日経BP出版（群馬パース大学団体契約版）	
オフィス・アワー	未定	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC, Mac等) を持参してください。	

講義科目名称：情報リテラシー

授業コード：10036

英文科目名称：Information Literacy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
西谷 泉			

授業形態	講義と実習	担当者
授業計画	第1回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第2回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第3回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第4回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第5回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第6回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第7回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第8回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第9回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第10回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第13回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指す	

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3. 情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎の演習と課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	前期に使用した以下の教科書を参考にする。 教科書：日経パソコンEduクラウド型教育コンテンツ提供サービス：日経BP出版 (A)基本から分かる情報リテラシー 日経BP出版（群馬パース大学団体契約版） （* 前期「情報処理」で使用した教科書ですので、再度購入する必要はありません。）
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。

講義科目名称：データサイエンス入門

授業コード：10037

英文科目名称：Introduction to Date Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	<p>第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ</p> <p>第2回 データサイエンスのすすめ さまざまなデータ/統計的方法と変数/コンピュータと計算ソフトウェア</p> <p>第3回 データを集める データの作り方/データの集め方/データの変換のしかた</p> <p>第4回 データを整理する 標本とパラメータ/データと尺度/データの分布</p> <p>第5回 集計を行うためには データを入力する/単純集計</p> <p>第6回 クロス集計表の作り方 クロス集計表の作成方法/ピボットテーブルの使い方</p> <p>第7回 統計グラフの作り方 統計グラフの種類と特徴/統計グラフの作成</p> <p>第8回 データをまとめる 大きさの代表値/散布図の代表値</p> <p>第9回 推計と判断 測定値と誤差/代表値の推定/検定の手順</p> <p>第10回 平均値を調べる 2群の平均値の検定/対応のある平均値の検定/3群以上の平均値の検定</p> <p>第11回 質的データの分析 関連の強さを測る/関連があるか内科を判断する</p> <p>第12回 量的データの分析 創刊の強さを測る/データから予測する</p> <p>第13回 公的統計の見方・使い方 出生に関する公的統計/死亡に関する公的統計</p> <p>第14回 実際のデータサイエンスで起こる問題 標本の大きさを決める/外れ値を見つける/欠損したデータを補正する</p> <p>第15回 データサイエンスのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認する。</p>	<p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p>
科目の目的	<p>現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。</p> <p>個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。</p>	
関連科目	情報処理・情報リテラシー・統計学・医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（50%）と演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの事後学習（45分）	
教科書・参考書	<p>教科書：データサイエンス入門 上藤一郎・西川浩昭・他 共著、オーム社</p> <p>参考書：データサイエンス入門 竹村彰通、岩波新書</p> <p>参考書：データサイエンス入門 竹村彰通・姫野哲人・他 共著、学術図書出版社</p>	
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mailにて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。	

講義科目名称：大学の学び入門

授業コード：10038

英文科目名称：Introduction to College Learning

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
杉田 雅子	星野修平	榎本光邦	峯村優一

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル 科目の目的・目標・進め方の説明、高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは</p> <p>第2回 調べる 情報を探す、情報の宝庫図書館の使い方</p> <p>第3回 インターネットリテラシー1 インターネット利用のルールとマナー (1)</p> <p>第4回 インターネットリテラシー2 インターネット利用のルールとマナー (2)</p> <p>第5回 聞く・ノートを取る・読む1 講義の聞き方、ノートの取り方、本や資料の読み方(1)</p> <p>第6回 読む2・考える 本や資料の読み方(2)、考える力をつけるには</p> <p>第7回 書く：レポートの書き方1 レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは</p> <p>第8回 書く：レポートの書き方2 論文作法</p> <p>第9回 書く：レポートの書き方3 講義レポートの形式</p> <p>第10回 自分自身の課題を見つける 入学以来の自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す</p> <p>第11回 相手の話を聴く ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する</p> <p>第12回 自分の気持ちや考えを伝える グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする</p> <p>第13回 協力して作業する これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する</p> <p>第14回 アカデミック・スキルの実践 (1) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：樋口建介理事長</p> <p>第15回 アカデミック・スキルの実践 (2) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：栗田昌裕学長、國元文生群馬パース病院長</p>	<p>杉田</p> <p>杉田</p> <p>星野</p> <p>星野</p> <p>杉田</p> <p>杉田</p> <p>峯村</p> <p>峯村</p> <p>峯村</p> <p>杉田</p> <p>榎本</p> <p>榎本</p> <p>榎本</p> <p>杉田</p> <p>杉田</p>
科目の目的	<p>大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。</p> <p>1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解</p> <p>2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。</p> <p>【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。</p> <p>2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）</p>	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	<p>杉田担当課題（10%、課題に対するフィードバックは次回の授業で行う）、星野担当課題（20%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う）、榎本担当意見文・感想文（30%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）峯村担当分課題（40%、課題はコメントと共に後日返却する）</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	なし。プリントを使用。	



オフィス・アワー	杉田：授業の前後、昼休み、4号館8階26研究室 星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 榎本：月、水、木、金の昼休み、1号館3階305研究室または5号館1階学生相談室 峯村：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。

講義科目名称：大学の学び－専門への誘い－

授業コード：10039

英文科目名称：Introduction to Healthcare Profession

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
石井 良和	石井良和 村田和香	竹原 敦 南 征吾	宮寺寛子 馬場順子
	吉岡和哉 岡田直純	近藤 健 石代敏拓	

授業形態	講義（1回）および演習（14回）	担当者
授業計画	<p>第1回 保健学を知る 保健学の広がりや作業療法の専門性の関係の理解 オリエンテーション、討議や発表の技法、省察的実践家（Reflective Practitioner）とは何か</p> <p>第2回 作業療法士像の探究1：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第3回 作業療法士像の探究2：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第4回 作業療法士像の探究3：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第5回 作業療法士像の探究4：作業療法士の学科教員から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第6回 作業療法士像の探究5：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第7回 グループディスカッション1：作業療法士としての能力を習得するために テーマ① エンド・オブ・ライフケア</p> <p>第8回 グループディスカッション2：作業療法士としての能力を習得するために テーマ② 子どもと大人の違い</p> <p>第9回 グループディスカッション3：作業療法士としての能力を習得するために テーマ③ モチベーション</p> <p>第10回 グループディスカッション4：作業療法士としての能力を習得するために テーマ④ 高齢入院患者の身体拘束</p> <p>第11回 グループディスカッション5：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑤ 理解すること</p> <p>第12回 グループディスカッション6：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑥ サービス</p> <p>第13回 グループディスカッション7：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑦ 考えること</p> <p>第14回 グループディスカッション8：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑧ あそぶこと</p> <p>第15回 グループディスカッション9：作業療法士としての能力を習得するために 総括 テーマ⑨ コミュニケーション</p>	<p>石井</p> <p>石井・村田</p> <p>石井・竹原・南</p> <p>石井・宮寺・馬場</p> <p>石井・吉岡・岡田</p> <p>石井・近藤・石代</p> <p>石井・南</p> <p>石井・吉岡</p> <p>石井・石代</p> <p>石井・近藤</p> <p>石井・竹原</p> <p>石井・馬場</p> <p>石井・岡田</p> <p>石井・宮寺</p> <p>石井・村田</p>
科目の目的	<p>これからの学びおよび将来医療職に就くものとして必要な態度やスキル、知識を学ぶことの導入に重点を置き、演習ではコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上をはかる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>グループ学習による課題への取り組みとコミュニケーション能力の向上をはかる。取り組んだ課題を他のグループへわかりやすく伝えることができる。</p>	
関連科目	<p>作業療法概論、リハビリテーション概論</p>	
成績評価方法・基準	<p>参加態度70%、課題レポート30% 参加態度については、グループワーク等での態度や発言などによって評価する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業外学習：事前に提示されたテーマについて予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。わかりにくい概念などをチェックしておき、復習時に確認しておくこと。目安となる時間は約45分程度。</p>	
教科書・参考書	<p>テキスト・参考書等は特に指定しませんが、関連テキストとしてドナルド・ショーン著「省察的実践とは何かープロフェッショナルの行為と思考」(鳳書房)、村田和香著「“私らしさ”を支えるための高齢期作業療法10の戦略」(医学書院)は参考となる。</p>	
オフィス・アワー	<p>講義当日は昼休みを中心とするが、その後は17時まで可。他の曜日は事前に連絡すれば可。場所は石井研究室。ほかの教員についての質問等も同様。</p>	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：多職種理解と連携

授業コード：

英文科目名称：Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：運動器解剖学

授業コード：10041

英文科目名称：Anatomy of Musculoskeletal System

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 解剖学総論 授業計画の説明 解剖学の位置づけ；人体の構成（細胞、組織、器官、器官系、個体）；解剖学において方向と位置を表す言葉；身体部位と身体運動の名称	後藤遼佑
	第2回 骨学総論 骨の一般的構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；骨の発生と成長；関節の種類と骨の連結様式	後藤遼佑
	第3回 体軸骨 椎骨の基本構造；頸椎、胸椎、仙椎、尾椎のかたちの違い；胸郭の構造	後藤遼佑
	第4回 体軸骨の連結 椎骨の連結様式と靭帯；頭部と頸椎の特殊な連結様式；胸椎と肋骨の連結様式と呼吸運動	後藤遼佑
	第5回 下肢骨 下肢帯（腸骨、恥骨、坐骨）の形態；自由下肢骨（大腿骨、脛骨、腓骨、足部）の形態	後藤遼佑
	第6回 下肢骨の連結 下肢骨の連結と靭帯；関節面の形態からみた下肢関節の分類	後藤遼佑
	第7回 上肢骨 上肢帯（鎖骨、肩甲骨）の形態；鎖骨、肩甲骨；自由上肢骨（上腕骨、尺骨、橈骨、手部）の形態	後藤遼佑
	第8回 上肢骨の連結 上肢骨の連結と靭帯；関節面の形態からみた上肢関節の分類；胸郭と上肢帯の連結	後藤遼佑
	第9回 筋学総論 筋の一般的構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；筋の分類；筋骨格系のテコ機構	後藤遼佑
	第10回 体軸の骨格筋 胸壁および腹壁の筋とそれらの層構造；胸郭上口と骨盤下口を閉じる筋群；固有背筋とその他の背部筋	後藤遼佑
	第11回 下肢の骨格筋 股関節と膝関節に作用する筋の配置	後藤遼佑
	第12回 下肢の骨格筋 足部の外在筋と内在筋の配置	後藤遼佑
	第13回 上肢の骨格筋 肩関節および肘関節に作用する筋の配置	後藤遼佑
	第14回 上肢の骨格筋 手部の外在筋と内在筋の配置	後藤遼佑
	第15回 筋骨格系の総括 これまで学習した筋骨格系の内容を総括する。	後藤遼佑
科目の目的	ヒトの筋骨格系における肉眼解剖学的構造を理解する。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	(1) ヒトの筋骨格系の基本的な構造を説明できる。 (2) 筋骨格系の構造にもとづき、各関節で生じる運動を推論できる。	
関連科目	臓器解剖学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験60% 小テスト40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業後には、配布したプリントに取り組むこと。授業の予習として1時間、授業後の復習として1時間程度の学習を勧める。	
教科書・参考書	教科書1：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書2「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	

	参考書：「イラスト解剖学 第9版」 松村讓兒（中外医学社）
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。
国家試験出題基準	<<専門基礎>>-I-1-A-a~b <<専門基礎>>-I-1-B-a~d <<専門基礎>>-I-1-C-a~b <<専門基礎>>-I-1-D-a~b <<専門基礎>>-I-1-H-a~e <<専門基礎>>-I-1-I-a~b
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：臓器解剖学

授業コード：10042

英文科目名称：Anatomy of Internal Organs

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 神経系総論 神経の一般的構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；中枢神経系と末梢神経系；体性神経系と自律神経系</p> <p>第2回 中枢神経系の構造1 中枢神経系の構造（大脳、間脳、中脳、小脳、橋、延髄、脊髄）；脳室系の構造</p> <p>第3回 中枢神経系の構造2 末梢神経系の全体像；末梢神経の神経成分と中枢神経系における神経核の位置</p> <p>第4回 抹消神経系の走行1 体性神経系と臓性神経系；</p> <p>第5回 抹消神経系の走行2 脊髄神経の基本的な走行；体軸の骨格筋の分節的神経支配；皮節の分節性</p> <p>第6回 抹消神経系の走行3 上下肢の末梢神経の名称と経路；皮節と上下肢筋の支配分節；神経叢の構造</p> <p>第7回 循環器系の構造1 縦隔と心臓の構造；小循環；冠状血管系</p> <p>第8回 循環器系の構造2 大循環；抹消血管の経路（動脈、静脈、リンパ系）</p> <p>第9回 循環器系の構造3 頭部の血管系；脳底動脈</p> <p>第10回 内臓器系の構造1 消化管の構造；消化酵素の働き</p> <p>第11回 内臓器系の構造1 肝臓、胆嚢、膵臓の構造；消化管と血管系（門脈の構造）</p> <p>第12回 呼吸器系 喉頭、気管、気管支、肺の構造；呼吸にかかわる反射とその中枢（化学受容反射、ヘーリング・プロイウェル反射）</p> <p>第13回 泌尿器系 腎臓、膀胱の構造；浸透圧調節機構</p> <p>第14回 生殖器系 生殖器の構造；性ホルモンの働き</p> <p>第15回 総復習 解剖学IIを総括する。</p>	<p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p>
科目の目的	ヒトの脈管・内臓における肉眼解剖学的構造を理解する。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	(1) 脈管・内臓の基本的な構造について説明できる。 (2) 神経系の構造にもとづき、器質的障害にともなう機能障害を推察できる。	
関連科目	運動器解剖学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業前の予習に一時間、授業後の復習に一時間程度をかけること。授業後の復習として配布したプリントに取り組むこと。	
教科書・参考書	教科書1：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書2：「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂） 参考書：「イラスト解剖学 第9版」松村讓兒（中外医学社）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。	
国家試験出題基準	<<専門基礎>>-I-1-E-a~d <<専門基礎>>-I-1-F-a~d <<専門基礎>>-I-1-G-a <<専門基礎>>-I-1-I-c <<専門基礎>>-I-1-J-a~b <<専門基礎>>-I-2-K-f~g <<専門基礎>>-I-2-L-a~c	

	《専門基礎》- I-2-M-a 《専門基礎》- I-2-N-a~c 《専門基礎》- I-2-O-a~b 《専門基礎》- I-2-P-a~b 《専門基礎》- I-2-Q
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下）

授業コード：

英文科目名称：Specific Anatomy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
浅見知市郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：解剖学演習

授業コード：

英文科目名称：Practice in Anatomy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生理学 I

授業コード：10045

英文科目名称：Physiology I

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー： 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	局所解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末テストの点数×0.3 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-A-a~b ≪専門基礎≫-I-2-B-a~b ≪専門基礎≫-I-2-C-a~i ≪専門基礎≫-I-2-D-a~e ≪専門基礎≫-I-2-E-a~b ≪専門基礎≫-I-2-F-a~d	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称：生理学Ⅱ

授業コード：10046

英文科目名称：Physiology II

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモン的一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー： 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	局所解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末テストの点数×0.3 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-G-a <sup>~</sup> b ≪専門基礎≫-I-2-H-a <sup>~</sup> d ≪専門基礎≫-I-2-I-a <sup>~</sup> d ≪専門基礎≫-I-2-J-a <sup>~</sup> d ≪専門基礎≫-I-2-K-a <sup>~</sup> e	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称：生理学実習

授業コード：

英文科目名称：Practice in Physiology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
高橋 正明			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 身体運動成り立ちの原則1 運動学総論 運動学を学ぶ心構え 身体運動の機能-構造学 進化から見た人の運動の特異性 関節運動の基本原則 基本面上の回転運動と名称 運動軸と運動自由度 剛体と分節構造の違い 分節構造による運動連鎖	高橋正明
	第2回 身体運動成り立ちの原則2 運動器の機能解剖 骨・関節の機能解剖 骨の構成成分と基本構造 関節の分類と運動自由度 関節の構造 関節包内運動 筋の機能解剖 動筋と拮抗筋 収縮様式 筋張力vs筋長, 収縮速度 共同運動 最大張力と筋断面積	高橋正明
	第3回 身体運動成り立ちの原則3 生体力学の基礎 運動法則 重力とバランス 力のモーメント テコの原理と人体のテコ 共同運動 リンク構造の運動学 二関節の役割	高橋正明
	第4回 肩甲帯・肩の運動1 肩の可動域と肩複合体を構成する5関節 肩の進化 肩甲帯の役割 滑膜性関節と機能的関節 各関節の特徴と役割 肩複合体での各関節の役割	高橋正明
	第5回 肩甲帯・肩の運動2 筋の基本的役割 各筋の基本的役割と肩複合体での機能(回旋筋腱板, 偶力としての働き) 肩甲上腕リズム	高橋正明
	第6回 肩甲帯・肩の運動3 動作における筋の役割(まとめ) 肘・前腕の運動1 運動と可動域 日常生活での筋の働き 肘関節・橈尺関節の特徴およびその動き	高橋正明
	第7回 肘・前腕の運動2 肘関節の機能-構造 肩と肘・前腕の小テスト 肘関節及び上・下橈尺関節の構造と機能 クランクカーブ 肘と前腕に働く筋 骨間膜の役割 運搬角と回内優位	高橋正明
	第8回 肘・前腕の運動3 2種類矛盾 解剖学での回旋運動軸 shunt muscleとspurt muscle, 屈筋群間の役割の違い 2関節筋の役割	高橋正明
	第9回 手関節・手の運動1 手関節の機能-構造 手関節の構造と機能の特徴 TFCC 関節の緩み	高橋正明
	第10回 手関節・手の運動2 指・手関節の運動 手根管 手掌腱膜の役割 腱鞘 外来筋・手内筋の運動 共同運動 指背腱膜と指の伸展運動	高橋正明
	第11回 手関節・手の運動3 母指の運動 母指対立運動のメカニズム 手のアーチ ユニットとしての手	高橋正明
	第12回 頸部・体幹の運動1 脊柱の成り立ち 脊柱の進化 脊椎の構造と機能 関節円板の形態と役割 脊椎の12方向への動き	高橋正明
	第13回 頸部・体幹の運動2 脊柱に作用する筋 脊柱起立筋と短背筋群、他	高橋正明
	第14回 頸部・体幹の運動3 胸郭の働き 呼吸運動 肩甲帯の安定化 上肢とのつながり 腹筋群のはたらき	高橋正明
	第15回 筋の機能解剖 骨格筋の構造 筋の形状による分類 筋収縮の様態 最大張力と断面積 筋の粘性と弾性 共同筋 二関節筋の機能	高橋正明
科目の目的	身体運動を機能-構造の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、自分自身や他人の関節運動を機能-構造的見方で説明することができる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	

到達目標	身体運動を機能－構造の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、自分自身や他人の関節運動を機能－構造的見方で説明することができる。
関連科目	運動器解剖学 臓器解剖学 解剖学演習 生理学Ⅰ・Ⅱ 生理学実習 運動学実習 リハビリテーション医学 生体計測身体障害の作業療法 身体障害の作業療法実習 日常生活活動学 日常生活活動学実習 義肢装具学
成績評価方法・基準	関節の機能解剖学的知識習得を確認するために小テストを2回行う(60%)。定期試験として運動の基本的原則を含む全範囲から出題する試験を行う(40%)。総合得点が60点以上を合格とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	運動学は応用科学であるため、四肢体幹の解剖学の基礎知識を前提に授業を進める。該当する部分を解剖学の教科書で確認しておくこと。30分～45分の準備学習が必要。
教科書・参考書	教科書 「標準理学療法学・作業療法学 運動学」高橋正明編 (医学書院) 「基礎運動学 第6版補訂」中村隆一, 他著(医歯薬出版) 参考書 「エッセンシャルキネシオロジー 第3版」P. J. Mansfield & D. A. Neumann著(エルゼビア・ジャパン)
オフィス・アワー	火曜日12:10～12:50、 金曜日12:10～12:50
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-3-A-a~f ≪専門基礎≫-I-3-B-a~e ≪専門基礎≫-I-3-C ≪専門基礎≫-I-3-D ≪専門基礎≫-I-3-E ≪専門基礎≫-I-3-F
履修条件・履修上の注意	解剖学で学んだ専門用語の知識は知っているものとして授業を進めるため、それらを教科書で確認しておくこと。

講義科目名称：運動学実習

授業コード：

英文科目名称：Practice in Kinesiology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生化学

授業コード：10050

英文科目名称：Biochemistry

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学を学ぶための基礎知識と各種生体構成成分の概要	木村 鮎子
	第2回 糖質 糖質の構造(単糖, 二糖, 多糖), 糖代謝 (解糖系, TCA回路, 糖新生)とその異常	木村 鮎子
	第3回 脂質 脂質の構造(中性脂肪, 脂肪酸, コレステロール, リン脂質, リポタンパク質), 脂質代謝 (脂肪酸の生合成と $\beta$ 酸化, コレステロールの合成・輸送・蓄積)とその異常	木村 鮎子
	第4回 タンパク質とアミノ酸 各アミノ酸の性質とタンパク質の機能, アミノ酸代謝とその異常	木村 鮎子
	第5回 核酸 核酸の構造, 遺伝子の働きと変異, 核酸の代謝とその異常	木村 鮎子
	第6回 ホルモン 各種ホルモンの構造と分泌器官, ホルモンによる生体調節機構と疾患との関係	木村 鮎子
	第7回 ビタミン ビタミンの構造・性質と生理機能 (補酵素, 遺伝子発現調節など), およびビタミン欠乏症	木村 鮎子
	第8回 ミネラル ミネラルの分類 (多量・微量ミネラル)と生理機能	木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造, 機能とその代謝を学び, 病態に対する生化学の基礎知識を習得する. 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 糖質とその代謝, 脂質とその代謝, タンパク質とその分解, アミノ酸代謝, 核酸とその代謝, 生体エネルギーについて, 生合成や代謝の過程が理解できること. 2. 生体内でのビタミン, ホルモン, ミネラルの役割が理解できること.	
関連科目	化学基礎, 生物学基礎, 生理学, 薬理学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%) により評価する.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう, 事前に教科書を30分程読んでおく.	
教科書・参考書	教科書: 栄養科学シリーズ NEXT 生化学 (講談社) 参考書: イラストでまなぶ生化学 (医学書院)	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける. 個別の相談は, 事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する.	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I-2-N-a~c	
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：人間発達学

授業コード：

英文科目名称：Human Development

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生涯発達心理学

授業コード：

英文科目名称：Life-span Developmental Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：学習・認知心理学

授業コード：

英文科目名称：Psychology of Learning and Cognition

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：心理測定法

授業コード：

英文科目名称：Psychological measurement method

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：行動科学とリハビリテーション

授業コード：

英文科目名称：Behavioral Science and Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
岡崎 大資			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：病理学

授業コード：10056

英文科目名称：Pathology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回 組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回 組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回 物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回 物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回 物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回 循環障害 1 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回 循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
	第9回 循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害	岡山香里
	第10回 炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過	岡山香里
	第11回 炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患	岡山香里
	第12回 先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	岡山香里
	第13回 腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍	岡山香里
	第14回 腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度	岡山香里
	第15回 腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	運動器解剖学，臓器解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-2-A-a~c	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：薬理学

授業コード：

英文科目名称：Pharmacology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：臨床薬学

授業コード：

英文科目名称：Clinical Pharmacy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：公衆衛生学

授業コード：10059

英文科目名称：Public Health

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
木村 博一	木村 朗		

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。</p> <p>第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。</p> <p>第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。</p> <p>第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。</p> <p>第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。</p> <p>第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。</p> <p>第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。</p> <p>第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。</p> <p>第9回 健康危機管理（1） 食品衛生・食の安全について概説する。</p> <p>第10回 健康危機管理（2） 感染症発生時や災害時の対応について概説する。</p> <p>第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。</p> <p>第12回 成人保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。</p> <p>第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。</p> <p>第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。</p> <p>第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。</p>	<p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。</li> <li>2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。</li> <li>3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。</li> </ol>	
関連科目	生命倫理、環境学、情報処理、作業療法学概論	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり2時間	
教科書・参考書	<p>【教科書】 「社会・環境と健康 公衆衛生学 2021年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版）</p> <p>【教科書】 身体活動学入門、木村 朗、（三共出版）</p>	
オフィス・アワー	<p>講義の前後（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp</p>	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-II-1-B-a~b 《専門基礎》-III-1-A-b 《専門基礎》-III-1-B-a~j 《専門》-I-1-E 《専門》-IV-1-E</p>	
履修条件・履修上		



講義科目名称：臨床検査・画像診断学演習

授業コード：

英文科目名称：Clinical Laboratory Medicine and Image Diagnostics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：臨床医学関連領域論

授業コード：

英文科目名称：Related Fields to Clinical Medicine

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：内科学

授業コード：

英文科目名称：Internal Medicine

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：整形外科学

授業コード：

英文科目名称：Orthopedics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：神経内科学

授業コード：

英文科目名称：Neurology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：小児科学

授業コード：

英文科目名称：Pediatrics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井埜 利博			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：精神医学 I

授業コード：

英文科目名称：Psychiatry I

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
佐賀 信之			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：精神医学Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Psychiatry II

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
佐賀 信之			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：リハビリテーション医学

授業コード：

英文科目名称：Rehabilitation Medicine

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：救急・免疫・感染症学

授業コード：

英文科目名称：Critical Care Medicine Immunology and Infectiou...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
高橋 篤			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：栄養学

授業コード：10070

英文科目名称：Nutrition

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 栄養学の目的 健康と進化と食事 食と私たち これ以上に大事な学問はない 食育の必要性</p> <p>第2回 献立と主食 献立の立て方と主食、糖質について</p> <p>第3回 タンパク質と脂質 たんぱく質と脂質について</p> <p>第4回 ビタミンとミネラル ビタミンとミネラルの詳細</p> <p>第5回 糖質の代謝 これが運動のエネルギー源である だから人間は進化できた</p> <p>第6回 使ったエネルギー量の算出 と摂取エネルギーの計算 エネルギー収支について</p> <p>第7回 時間栄養学とスポーツ栄養学 時間によって変わるエネルギー代謝</p> <p>第8回 まとめ とテスト 1-7回のまとめ</p>	<p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p>
科目の目的	<p>捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基本的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。</li> <li>・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。</li> <li>・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。</li> <li>・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。</li> <li>・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。</li> <li>・生涯にわたって栄養分野を探究し、その発展に貢献する意欲を持っている。</li> <li>・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。</li> <li>・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。</li> </ul>	
関連科目	①運動器解剖学・臓器解剖学 ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。	
教科書・参考書	<p>教科書：オールガイド食品成分表2020（実教出版） 参考書：新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メジカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著（医歯薬出版）</p>	
オフィス・アワー	授業の前後	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-Ⅰ-2-K-f~g 《専門基礎》-Ⅰ-2-N-a~c 《専門基礎》-Ⅱ-13-E-h</p>	
履修条件・履修上		



講義科目名称：緩和医療学

授業コード：

英文科目名称：Palliative Medicine

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：リハビリテーション概論

授業コード：10072

英文科目名称：Rehabilitation Concept

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
村田 和香	村田 和香	中 徹	白坂 康俊

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション リハビリテーションを取り巻く知識の整理 障害学、クライアント中心、健康、生活	村田 和香
	第2回 リハビリテーションの定義の変遷 歴史的変遷、定義と目的	中 徹
	第3回 病気と障害 病気とは、障害とは	中 徹
	第4回 障害のとりえ方 国際疾病分類（ICD）から国際障害分類（ICDH）、そして国際生活機能分類（ICF）へ	中 徹
	第5回 人間の活動と発達 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション、発達障害	中 徹
	第6回 リハビリテーションの諸領域 医学的・教育・職業・社会的・地域リハビリテーション、地域包括ケアシステム	中 徹
	第7回 リハビリテーションの流れと分野1 医療現場におけるリハビリテーション、急性期、回復期、生活期、終末期、理学療法	中 徹
	第8回 リハビリテーションの流れと分野2 地域リハビリテーション、保健・介護・福祉分野との連携、生活、作業療法	村田 和香
	第9回 自分らしく生きる 社会参加、社会貢献	村田 和香
	第10回 就労支援 職業的リハビリテーション、障害者雇用	村田 和香
	第11回 人生をまとめる 老年期・終末期 加齢と老化の視点、人生100年時代の課題	村田 和香
	第12回 言語障害・聴覚障害・コミュニケーションの障害	白坂 康俊
	第13回 食の楽しみと摂食・嚥下障害	白坂 康俊
	第14回 リハビリテーションとチーム医療 言語聴覚療法の役割と連携について	白坂 康俊
	第15回 まとめ 社会参加を支援する 社会参加、社会貢献、生活の意味	村田 和香
科目の目的	本講義では、リハビリテーションの理念と原則を踏まえて、医学および社会における包括的なリハビリテーション、ならびに障害学の基本概念を習得することを目標とする。理学療法士・作業療法士として必要な障害学の内容と評価・治療方法の要点、国際生活機能分類（ICF）、リハビリテーションのプロセス、各専門職とリハビリテーションチーム医療のあり方、さらには保健・福祉行政における社会的資源とリハビリテーションの関わり等についての基礎知識を理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	リハビリテーションの基本理念と原則を理解し、障害の概念と分類、リハビリテーションの諸相とその過程、リハビリテーションの進め方、障害と心理、さらにはリハビリテーション障害学の基礎、そして保健医療福祉制度・関係法規とリハビリテーションとの関連について獲得する。具体的には下記の通りである。 ①リハビリテーションの概念および定義を説明することができる。 ②リハビリテーションの歴史を説明することができる。 ③国際生活機能分類（ICF）を説明できる。 ④リハビリテーションの多職種連携の重要性を説明できる。 ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の果たす役割を説明できる。	
関連科目	作業療法概論、チーム医療とリハビリテーション、地域リハビリテーション学	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）：到達目標の達成程度を確認する筆記試験を行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は各回の項目について配布資料・その他各種メディアを通じて自分なりの問題意識を抱き、復習は講義内容のレビューを行い疑問点を解消して自分の言葉で平易に正しく説明できるようにすること。 必要な学習時間の目安は概ね30分程度である	
教科書・参考書	教科書：特に定めず、講義資料を活用する。 参考書中村隆一編「入門リハビリテーション概論（第7版補訂）」（医歯薬出版）	



	その他講義内容により資料等配布有り。
オフィス・アワー	講義当日の17時まで
国家試験出題基準	<<専門基礎>>-II-1-A-a~c <<専門基礎>>-II-1-B-a~b <<専門基礎>>-II-3-A-a~b <<専門基礎>>-II-3-D-a~b <<専門基礎>>-II-3-E <<専門基礎>>-II-3-F-a~c <<専門基礎>>-II-3-G-a~l <<専門基礎>>-II-3-H-a~d <<専門基礎>>-III-1-C-a~c <<専門基礎>>-III-1-D-a~c <<専門基礎>>-III-2-A-a~e <<専門基礎>>-III-2-B-a~b <<専門基礎>>-III-2-C-a~d <<専門基礎>>-III-2-D-a~d <<専門基礎>>-III-2-E-a~e <<専門>>-I-1-A-a~d <<専門>>-I-1-B-a~d <<専門>>-I-1-C-a~e <<専門>>-I-1-D-a~b <<専門>>-V-1-B
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：チーム医療とリハビリテーション

授業コード：10073

英文科目名称：Team Approach to Health Care and Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
馬場 順子	村田 和香 岡田 直純	岡崎 大資 浅田 春美	神山 政恵
	三浦 康子	丹下 弥生	北村 達夫

授業形態	講義（3）、演習（5）		担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 総論（講義） チーム・アプローチの必要性、保健医療チームの特徴、チームのタイプ</p> <p>第2回 リハビリテーション・チームの役割（講義） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割</p> <p>第3回 グループ・ワークについて（講義） グループ課題情報共有、グループ分け</p> <p>第4~7回 グループワーク（演習4回） 下記の課題を担当するグループを決定し、グループでの役割分担、情報収集、分析、ディスカッション、発表準備を行う。 課題① 高崎市問屋町を生活圏とするために 課題② 大学生活を快適にする方法 課題③ リハビリテーションを地域住民に知ってもらうために 課題④ 高齢者のための生活の工夫を考える 課題⑤ リハビリテーションの将来を考える</p> <p>第8回 グループ発表（演習） グループ・ワークの結果をまとめ、その学習成果をポスター等により発表し、ディスカッションを行う。</p>		<p>村田・岡崎・神山</p> <p>岡崎・馬場・神山</p> <p>神山・岡崎・馬場</p> <p>岡崎・浅田・北村・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p> <p>岡崎・浅田・北村・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p>
科目の目的	<p>リハビリテーション学部のディプロマ・ポリシーで謳われている「多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力」を目指し、リハビリテーション学部の3学科の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。「リハビリテーション概論」の学修に基づき、学科横断的に編成するグループによる課題解決の過程を通して、チームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、他者理解の上での交流の在り方、組織管理について学修する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>		
到達目標	<p>①チーム医療の意味を説明できる。 ②リハビリテーション・チームの役割を説明できる。 ③グループ・ワークに積極的参加することができる。 ④他者の意見を聞くこと、自らの意見を話すことができる。</p>		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、作業療法概論、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	<p>グループ・ワークの発表（50%）およびディスカッションを含めた課題をレポートにまとめる（50%）。 レポートのフィードバックは学科担当教員が行う。</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的にグループ・ワークに参加すること。 準備学習に必要な時間の目安は30分程度である。</p>		
教科書・参考書	特に定めない。		
オフィス・アワー	グループ担当教員が昼休み（12：10～13：00）に対応する。		
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-Ⅲ-1-A-d 《専門基礎》-Ⅲ-2-D-a~d</p>		
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称：臨床心理学

授業コード：

英文科目名称：Clinical Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：社会福祉・地域サービス論

授業コード：

英文科目名称：Social Welfare and Community Services

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
金谷 春代			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：医療統計学

授業コード：

英文科目名称：Medical Statistics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
木村 朗			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：作業療法学概論

授業コード：10077

英文科目名称：Introduction to Occupational Therapy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
石井 良和			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 リハビリテーションの目標と作業療法	石井良和
	第2回 作業療法の定義・歴史	石井良和
	第3回 現代の作業療法1：クライアント中心の実践	石井良和
	第4回 現代の作業療法2：作業中心の実践	石井良和
	第5回 現代の作業療法3：証拠に基づく実践 グループ討議 レポート課題	石井良和
	第6回 現代の作業療法4：作業療法の領域と役割	石井良和
	第7回 現代の作業療法5：作業療法の目的と方法	石井良和
	第8回 まとめと試験	石井良和
科目の目的	作業療法の概要と作業療法の視点を学び、作業療法学生としての同一性の基礎と心構えを培うことである。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1) リハビリテーションにおける作業療法の位置づけおよび意義が説明できる。 2) 国内外の作業療法の定義が言える。 3) 作業療法の対象領域と役割が言える。 4) 作業療法の目的と方法が言える。	
関連科目	初年次における最初の専門科目なので前提とする授業はないが、心理学や哲学などの科目を履修しておくことは望ましい。	
成績評価方法・基準	成績評価方法：筆記試験70%，レポート20%（5回目授業時、6回目授業時にフィードバック予定），授業態度および授業中の発言（ルーブリック評価予定）10% ・期末試験については、到達目標に基づき、作業療法に関する講義内容が今後予定されている関連授業等で役立つように問題設定するので、その確実な知識を評価する。 ・授業態度やレポート等の提出物については、グループワーク等での態度や発言などによって評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業外学習：次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。わかりにくい概念などをチェックしておき、復習時に確認しておくこと。目安となる時間は約60分程度。	
教科書・参考書	テキスト・参考書等：教科書 編集 二木淑子・能登真一：標準作業療法学 作業療法学概論(第3版)。医学書院，2016 参考書 山田孝・訳：作業療法実践の理論、原書第4版。医学書院，2014	
オフィス・アワー	講義当日は昼休みを中心とするが、その後は17時まで。他の曜日は事前に連絡をすれば可。場所は石井研究室	
国家試験出題基準	<< 専門 >>- I-1-A-a << 専門 >>- I-1-B-a~d << 専門 >>- I-1-C-a~e << 専門 >>- I-1-D-a~b << 専門 >>- I-1-G << 専門 >>- I-1-H-a << 専門 >>- I-1-I-a~f << 専門 >>- I-2-A-a~b << 専門 >>- I-2-B << 専門 >>- I-2-C << 専門 >>- I-2-D << 専門 >>- I-2-E << 専門 >>- I-2-F << 専門 >>- I-2-G-a~c << 専門 >>- III-1-A << 専門 >>- III-1-B-a~d	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：基礎作業学

授業コード：10078

英文科目名称：Basis of Human Occupation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
竹原 敦			

授業形態	講義15時間	担当者
授業計画	第1回 作業の捉え方 レポート課題1	竹原
	第2回 作業と環境と文脈	竹原
	第3回 作業公正	竹原
	第4回 作業役割 レポート課題2	竹原
	第5回 作業バランス	竹原
	第6回 作業療法実践の枠組からみた作業①	竹原
	第7回 作業療法実践の枠組からみた作業②	竹原
	第8回 作業の分析 レポート課題3	竹原
科目の目的	作業療法の基礎であり、治療目標及び治療手段となる「作業」について、その意味と有効性を学ぶ。作業が人の生活とどのように関係しているか理解し、作業と作業療法の関係を学んだ上で、作業分析の概要と作業の治療的応用について理解する。また日常生活のさまざまな作業について分析的な視点を習得する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 作業の定義を説明できる 2. 作業を構成する要素と作業遂行との関連を説明できる 3. 作業の治療的効果を説明できる 4. 作業の歴史の変遷を理解することができる 5. 作業療法の理論とモデルに基づく作業の視点を理解することができる	
関連科目	作業療法学概論、基礎作業学演習、基礎作業学実習	
成績評価方法・基準	定期試験（70％）、授業内レポート（30％） なお、レポートはActiveAcademyにてフィードバックする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・参考書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマあたり1時間。	
教科書・参考書	教科書：小林夏子、他・編：基礎作業学 第2版、医学書院、東京、2012.	
オフィス・アワー	昼休み12：10～13：00 竹原研究室	
国家試験出題基準	≪専門≫-I-3-A-a <sup>~</sup> d ≪専門≫-I-3-B-a <sup>~</sup> e ≪専門≫-I-3-C-a <sup>~</sup> c	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：基礎作業学演習

授業コード：10079

英文科目名称：Seminar of Human Occupation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
竹原 敦	岡田 直純		

授業形態	講義15時間	担当者
授業計画	第1回 作業を分析するとは（講義） 第2回 動作・心理に基づく作業分析①（講義） 第3回 動作・心理に基づく作業分析②（演習） 第4回 動作・心理に基づく作業分析③（発表） レポート1 第5回 手工芸の分析①（講義） 第6回 手工芸の分析②（演習） 第7回 手工芸の分析③（演習） 第8回 手工芸の分析④（発表） レポート2 第9回 作業行動の分析①（講義） 第10回 作業行動の分析②（演習） 第11回 作業行動の分析③（発表） レポート3 第12回 レクリエーションの分析①（講義と演習） 第13回 レクリエーションの分析②（演習） 第14回 レクリエーションの分析③（演習） 第15回 レクリエーションの分析④（発表）	竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田
科目の目的	基礎作業学の学びに基づき、作業の体験と作業分析の試み、作業分析レポート作成、事例を通じた作業分析の実施をグループ発表により学ぶ。作業療法的手段である作業についての理解を深めるために、作業の意味、人と作業の関係等について学習する。また、作業の治療・援助への応用と理論的意義を学習し、対象者への指導方法を学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 動作・心理に基づく作業分析を行うことができる 2. 手工芸の分析を行うことができる 3. 作業行動の分析を行うことができる 4. レクリエーションの分析を行うことができる	
関連科目	作業療法学概論、基礎作業学、基礎作業学実習	
成績評価方法・基準	定期試験（70%）、授業内レポート（30%） なお、レポートはActiveAcademyでフィードバックする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・参考書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマあたり1時間。	
教科書・参考書	教科書：小林夏子、他・編：基礎作業学 第2版、医学書院、東京、2012.	
オフィス・アワー	昼休み12：10～13：00 竹原研究室、岡田研究室	
国家試験出題基準	≪専門≫-I-3-A-a <sup>~</sup> d ≪専門≫-I-3-B-a <sup>~</sup> e ≪専門≫-I-3-C-a <sup>~</sup> c	
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	竹原 敦（作業療法士）	



授業の概要	基礎作業学の学びに基づき、作業の体験と作業分析の試み、作業分析レポート作成、事例を通じた作業分析の実施をグループ発表により学ぶ。作業療法的手段である作業についての理解を深めるために、作業の意味、人と作業の関係等について学習する。また、作業の治療・援助への応用と理論的意義を学習し、対象者への指導方法を学ぶ。
-------	---

講義科目名称：基礎作業学実習

授業コード：

英文科目名称：Practice of Human Occupation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡田 直純			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	岡田 直純（作業療法士）	
授業の概要	<p>作業療法として用いられる代表的な手工芸や手段の日常生活活動について実習を通して、作業療法の治療手段の基礎知識と技術を習得し、様々な対象者に作業を適用するための理解を深める。さらに作業を遂行するために必要な、身体的、心理的、認知的機能を学ぶ。具体的には木工、陶芸、レザークラフト、絵画・美術、七宝焼き、園芸の準備から実施、片づけ、作品の鑑賞・評価までの一連の作業に加え、スポーツやレクリエーションを実際に行う中で、作業の意味を学ぶ。</p>	

講義科目名称：生体計測工学

授業コード：

英文科目名称：Biomeasurement Engineering

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：作業療法学研究法演習

授業コード：

英文科目名称：Research Methods in Occupational Therapy Seminar

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
石井 良和			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	石井 良和（作業療法士）	
授業の概要	作業療法の研究に関して必要な事項や主要概念を理解し、文献を批判的に吟味しながら読めるようになるとともに、問題解決型学習法（Problem-Based Learning: PBL）をもちいて、実際に学生が研究に関連し、理解が不十分な問題を自ら選択して小グループで解決する中で作業療法学における研究の必要性と意義を学ぶ。	

講義科目名称：事例研究法

授業コード：

英文科目名称：Case Study Methods

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：卒業研究

授業コード：

英文科目名称：Graduation Studies

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
竹原 敦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	竹原 敦（作業療法士）	
授業の概要	教員が提示するいくつかの研究領域を選択し、講義や演習、調査・実験などを通じて研究テーマを選択し、最終的に研究論文を完成させる。将来研究を行う上で必要な知識、技術、態度を初歩的な研究実践を通して修得する。具体的な研究テーマを遂行するために必要な技術の一部、プレゼンテーション技法、学術論文の記述方法など、各教員の指導に基づき実践的に学習する。	

講義科目名称：作業療法管理学 I

授業コード：

英文科目名称：Administration in Occupational Therapy I

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：作業療法管理学Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Administration in Occupational Therapy Ⅱ

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：作業療法評価学

授業コード：10087

英文科目名称：Occupational Therapy Assessment

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
南 征吾	竹原 敦	岡田 真純	

授業形態	講義15コマ（演習を併用して実施する）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーションおよび作業療法の視点	南
	第2回	作業療法の評価の枠組み、目的、内容を把握する	南
	第3回	身体障害領域の作業療法の評価および情報収集	南
	第4回	身体障害領域の各種検査の技法の原理および面接、観察、記録	南
	第5回	作業療法における身体障害の理解 レポート課題	南
	第6回	老年期を評価する目的と視点	竹原
	第7回	老年期における観察、面接、検査による評価	竹原
	第8回	認知症の人に対する評価	竹原
	第9回	認知機能を評価する目的と視点	竹原
	第10回	認知機能における観察、面接、検査による評価 レポート課題	竹原
	第11回	精神科作業療法の評価とは	岡田
	第12回	評価の進め方と情報収集	岡田
	第13回	精神科作業療法における面接	岡田
	第14回	精神科作業療法における観察、記録	岡田
	第15回	作業療法における精神障害の理解 レポート課題	岡田
科目の目的	作業療法における評価の枠組み、目的、内容に関する全般的概念を把握する。基礎的技法としての観察・面接、および各種検査法の主たる技法を知り、その原理について学習する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	1) 作業療法の評価によって、心理・運動・感覚の統合された存在としての人間の機能を理解できる。 2) 作業療法の対象疾患と障害を学習し、実践的治療と援助ができる。 3) 作業療法の枠組み、目的、内容について、他者に自分の考えを伝えることができる。		
関連科目	作業療法学概論、基礎作業学、リハビリテーション概論、など		
成績評価方法・基準	定期試験50%、授業内レポート20%、期末レポート30% なお、授業内のレポートのフィードバックはActiveAcademyで実施する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	指定した参考書を読んでおくこと。範囲については毎回の授業で指定する。 準備学習に必要な学習時間は45分程度とする。		
教科書・参考書	教科書：標準作業療法学 作業療法評価学（医学書院） 参考書：随時紹介		
オフィス・アワー	講義当日の昼休み、各担当教員の研究室		
国家試験出題基準	<< 専門基礎 >>-III-1-A-e << 専門 >>-II-2-A << 専門 >>-II-2-B << 専門 >>-II-2-C-a << 専門 >>-II-2-D << 専門 >>-II-2-E-a~d << 専門 >>-II-2-F << 専門 >>-II-2-G << 専門 >>-II-2-H << 専門 >>-II-3-A-a~f << 専門 >>-II-3-B-a~d << 専門 >>-II-3-C << 専門 >>-II-3-D-a~j << 専門 >>-II-3-E-a~c << 専門 >>-II-3-F-a << 専門 >>-II-3-G-a~d << 専門 >>-II-3-H-a~g << 専門 >>-II-3-I << 専門 >>-II-4-A-a << 専門 >>-II-4-B-a~g << 専門 >>-II-4-C-a << 専門 >>-II-4-D << 専門 >>-II-4-E-a~b << 専門 >>-II-4-F-a~e << 専門 >>-II-5-A-a~d << 専門 >>-II-5-B-a~d << 専門 >>-II-5-C << 専門 >>-II-6-A-a~b << 専門 >>-II-6-B-a~b << 専門 >>-II-7-A-a~k << 専門 >>-II-7-B-a~b << 専門 >>-II-7-C-a~k << 専門 >>-II-7-D-a~g << 専		

	門》-Ⅱ-7-E-a <sup>~</sup> e 《専門》-Ⅱ-7-F-a <sup>~</sup> f 《専門》-Ⅱ-7-G-a <sup>~</sup> d 《専門》-Ⅱ-7-H-a, b 《専門》-Ⅱ-7-I 《専門》-Ⅱ-7-J 《専門》-Ⅱ-7-K 《専門》-Ⅱ-7-L-a 《専門》-Ⅱ-8-A 《専門》-Ⅱ-8-B
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：作業療法評価学演習

授業コード：

英文科目名称：Seminar of Occupational Therapy Assessment

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	宮寺 寛子（作業療法士）	
授業の概要	作業療法的手段であり、行為者の行動目的の形成にもなる作業の形態と治療への適応方法の理解を深める。そのための作業分析、作業歴評価、作業遂行評価、環境の評価等の学習を通し作業機能障害を理解し、作業の意味と治療的価値を学習する。	

講義科目名称：作業療法評価学実習

授業コード：

英文科目名称：Practice of Occupational Therapy Assessment

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡田 直純			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	岡田 直純（作業療法士）	
授業の概要	身体機能及び精神機能、発達の視点に対する作業療法に用いられる評価について学習する。各評価項目についての理解、評価技法の修得、評価計画法、評価結果のまとめ方、評価結果に基づく治療・訓練・援助プログラムの立案等について、実習を通して学習する。	

講義科目名称：作業療法総合評価演習

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy Assessment in case studies

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡田 直純			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	岡田 直純（作業療法士）	
授業の概要	作業療法の対象となる典型的なクライアントに対する評価・支援計画を演習を通して学習する。事例をもとに、クライアントが現在置かれた状況やこれから望む生活、作業機能障害、心身機能・構造上の問題などを統合し、その人らしい生活の実現のために必要となる評価・支援を考える。	

講義科目名称：身体領域の作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in the Field of Physical ...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：身体領域の作業療法学実習

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in the Field of ... Seminar

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	南 征吾（作業療法士）	
授業の概要	身体障害領域の作業療法士として必要な実践的治療技術、ならびに対象理解のために不可欠である活動分析を通じた応用技術を幅広く実践的に学ぶ。とくに身体障害の作業療法における治療技術と援助方法の体系イメージを育み、具体的治療から援助方法について、学生相互の模擬演習を主体とした実践的形式から幅広く学ぶ。	

講義科目名称：認知機能作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy for Cognitive Function

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
竹原 敦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：精神領域の作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in the Field of Mental Health 対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
石井 良和			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：精神領域の作業療法学実習

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in the Field of Me... Seminar

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
馬場 順子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	馬場 順子（作業療法士）	
授業の概要	精神作業療法学を基礎として、作業療法の実践ができるように、作業療法技法の獲得を目標とする。主な学習内容は、治療方法（治療形態、回復段階に応じた対応等）、疾患別作業療法、地域での精神科リハビリテーションにおける作業療法の役割、リスク管理である。	

講義科目名称：発達領域の作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in the Field of Child ...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：発達領域の作業療法学演習

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in the Field of Ch...Seminar

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	吉岡 和哉（作業療法士）	
授業の概要	発達領域の作業療法学での学習に基づき、各疾患・障害に対する作業療法を学ぶ。各疾患・障害に対する作業療法の実際を知り、実際に遊具の作成と活動分析を行った上でオリジナルプログラムを立案することを修得する。具体的には自閉症や注意欠如多動症、脳性まひ、知的障害、重症心身障害、摂食障害、被虐待児、進行性筋ジストロフィーの各事例を通して学ぶ。さらに対象となる子供が利用している病院や施設にて実施し評価の実際を学ぶ。	

講義科目名称：老年期の作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy for Geriatrics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
竹原 敦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：内部障害作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy for Internal Organ Failure

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：作業療法理論

授業コード：

英文科目名称：Theories of Occupational Therapy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
石井 良和			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：作業療法リーズニング

授業コード：

英文科目名称：Clinical Reasoning of Occupational Therapy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：義肢装具学

授業コード：

英文科目名称：Prosthesis and Orthosis

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：日常生活活動学

授業コード：

英文科目名称：Activities of daily living

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：日常生活活動学実習

授業コード：

英文科目名称：Practice of Activities of daily living

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	宮寺 寛子（作業療法士）	
授業の概要	日常生活活動学での学びに基づき、日常生活活動の分析方法、評価法、指導法等の技法原理を、実習を通して学習する。また、各疾患の評価、問題点の抽出、治療計画、治療手段について実習する。特に、作業療法の対象となる疾患・障害を持つクライアントに対する典型的な支援方法について学習し、障害者が日常生活へ適応するために必要な技術を習得する。併せて、代償方法や生活環境改善等についても学習する。作業遂行の動作的な側面のみならず、認知機能や心理社会的側面（興味、価値、不安、自信など）についても視野を広げて評価・介入することの意義を理解する。	

講義科目名称：作業療法総合演習

授業コード：

英文科目名称：Comprehensive Occupational Therapy Seminar

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	吉岡 和哉（作業療法士）	
授業の概要	これまで学習した作業療法の対象、評価法、介入法について、総合臨地実習Ⅰ及び総合臨地実習Ⅱでの経験を基に、今後職業として実践する作業療法について整理・統合するとともに、専門職としての作業療法士のあり方、作業療法研究の意味を確認する。	

講義科目名称：就労支援技術論

授業コード：

英文科目名称：Vocational Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
馬場 順子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：栄養学

授業コード：

英文科目名称：Rehabilitation Nutrition

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
浅田 春美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：地域作業療法学

授業コード：

英文科目名称：Occupational Therapy in Community-Based Practice

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
竹原 敦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生活環境学

授業コード：

英文科目名称：Human Life and Environment

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		



講義科目名称：福祉機器論

授業コード：

英文科目名称：Adaptation to Assistive Device Use

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：支援工学

授業コード：

英文科目名称：Wellbeing Science and Assistive Technology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
目黒 力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：国際保健学

授業コード：

英文科目名称：Global Health

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：災害保健学

授業コード：

英文科目名称：Disaster Response and Recovery

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：地域リハビリテーション学

授業コード：

英文科目名称：Community-based Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
馬場 順子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：見学実習

授業コード：

英文科目名称：Clinical Fieldwork Level I

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
宮寺 寛子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	宮寺 寛子（作業療法士）	
授業の概要	病院や施設で実際の作業療法の見学と観察を行い、作業療法の果たす役割と業務を理解し、作業療法学生としての倫理観を持ち、その後の学業のモチベーションを高める機会とする。また、患者や対象者と接する中で、障害を持つ方への理解を深める。	

講義科目名称：作業療法基礎実習 I

授業コード：

英文科目名称：Clinical Fieldwork Level II - 1

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	3単位	必修
単位認定者	担当者		
岡田 直純			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	岡田 直純（作業療法士）	
授業の概要	本実習は身体障害領域、精神障害領域において各3週間実施される。学内で学んだ評価知識や技術を臨床の場において実践し、理解を深める実習である。臨床教育者と共に情報収集・面接・観察・検査測定から得られたデータを統合解釈することにより、対象者を総合的に理解し、解決すべき課題を明確化し作業療法計画を経験・立案することを目的とする。	

講義科目名称：作業療法基礎実習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Clinical Fieldwork Level Ⅱ - 2

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	3単位	必修
単位認定者	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	吉岡 和哉（作業療法士）	
授業の概要	本実習は身体障害領域、精神障害領域において各3週間実施される。学内で学んだ評価知識や技術を臨床の場において実践し、理解を深める実習である。臨床教育者と共に情報収集・面接・観察・検査測定から得られたデータを統合解釈することにより、対象者を総合的に理解し、解決すべき課題を明確化し作業療法計画を経験・立案することを目的とする。	



講義科目名称：総合臨地実習 I

授業コード：

英文科目名称：Clinical Fieldwork Level III - 1

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	8単位	必修
単位認定者	担当者		
南 征吾			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	南 征吾（作業療法士）	
授業の概要	<p>身体・精神・発達・老年の各領域における病院・施設等で2期にわたって行われる総合臨地実習は、本学における学習の総仕上げにあたるものである。学生は進路に合わせ、4領域から2領域を選択して実習に取り組む。学生は、総合臨地実習の場で臨地教育指導者の監督・指導のもとに個別に実習を行なう。具体的には対象者の評価、治療プログラムの立案と実施、業務の記録と方法、関連職種の人々との連携、作業療法部門の管理運営、専門職としての態度を学ぶ。各期8週間の実習と学内セミナーによって構成される。</p>	

講義科目名称：総合臨地実習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Clinical Fieldwork Level Ⅲ - 2

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	8単位	必修
単位認定者	担当者		
馬場 順子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	馬場 順子（作業療法士）	
授業の概要	<p>身体・精神・発達・老年の各領域における病院・施設等で2期にわたって行われる総合臨地実習は、本学における学習の総仕上げにあたるものである。学生は進路に合わせ、4領域から2領域を選択して実習に取り組む。学生は、総合臨地実習の場で臨地教育指導者の監督・指導のもとに個別に実習を行なう。具体的には対象者の評価、治療プログラムの立案と実施、業務の記録と方法、関連職種の人々との連携、作業療法部門の管理運営、専門職としての態度を学ぶ。各期8週間の実習と学内セミナーによって構成される。</p>	

講義科目名称：地域臨地実習

授業コード：

英文科目名称：Community-based Occupational Therapy Practice

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
竹原 敦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	竹原 敦（作業療法士）	
授業の概要	<p>地域作業療法学で学んだ知識や総合臨地実習の経験をふまえ、地域作業療法の現場を実際に見聞き、理念や役割について理解を深める。地域リハビリテーションの体制を知り、地域における作業療法及び作業療法士の役割と機能を学ぶ。具体的には、地域リハビリテーション体制、作業療法士の業務、訪問リハビリテーションや作業所、就労支援施設などの役割と作業療法の関わりについて学習する。</p>	